

交通安全ジャーナル

東京の交通安全情報誌

■ 高齢者の交通事故防止

秋の全国交通安全運動実施

2021
令和3年
10





▲小野品川安協会長



▶21年6月に交通死亡事故「0」4年達成により「交通部長・東京都交通安全協会会長連盟感謝状」を受賞。高橋品川署長(写真右)より交付を受けた

品川交通安全協会の6代目小野正彦会長は、品川区南品川の株式会社小野運送店7代目代表取締役社長である。小野運送店は明治29年(1896年)品川で馬20頭を主軸に馬力運送業として営業を開始。今年で125年目を迎えた。

地元生まれの地元育ち。「若い頃には地元の連中と大井埠頭などでバイクを乗り回していたこともありました。品川安協事務局長の夏目さんは元白バイ隊員だから、お世話になっていたかもしれないね」と笑う。

法政大学第二高等学校を卒業してすぐに小野運送店に入社。在学生の9割が法政大学に進学する中、大学へ進学しても卒業後は小野運送店に入社するのだから、早いほうがよいだろうと考えたという。千葉の東金、栃木、茨城などの営業所で従業員として仕事を覚えた。38歳を過ぎた頃、当時業績が落ちていた東金で所長として回復に取り組んでいたが、御母堂が亡くなったことを契機に東京へ戻り、45歳で代表取締役社長に就任した。

還暦を過ぎた現在は、品川安協をはじめ品川神社の総代、法人会や消防関係などの活動で多忙な日々を送る。合間をぬっての読書やテレビ鑑賞がもっぱらの休息だという。

読書は政治経済から歴史分野まで多岐にわたる。歴史は戦国時代から明治維新あたりに関心を

持つ。ことさら織田信長の、時として恐れずに改革を進める発想力、実行力に惹かれるという。代表就任から17年。営業部門の再編や先陣を切ったの産業廃棄物リサイクルへの参入などの開拓は結果を出し、会社の規模は2倍近くにまでなっている。その行動力は信長に通じているのだろうか。

経営で大切にしていることを伺うと、「車に携わる企業にとって一番大切なのは、交通安全です。その中でも制限速度を守ること。そして、従業員に対し注意喚起を毎日こまめにする事です」という言葉通り、小野運送店では18ある営業所の状況をIT点呼で把握、アルコールチェック、ドライブレコーダーの確認、定期的なドライバー教育など、徹底した運輸安全マネジメントと訓練を実施している。

「品川という地域はお祭りが多く、警察関係者も含め団結しています。それはもう文化です。住民の方々もとても協力的です。今年5月までは4年間交通死亡事故ゼロでした。残念ながらその後1件発生してしまいました。今後、気持ちも新たに、安全な地域づくりに貢献していきます」と語る会長の御尊父は品川交通安全少年団の初代団長。その縁で安協に携わり、昨年から東京都交通安全協会の監事に就任した。品川に、そして東京にまた一人頼もしい力が加わった。

品川交通安全協会 小野正彦 会長

横断訓練・交通安全教室



▲園児57人が参加。腹話術人形ケンちゃんと警視庁交通総務課員が交通ルールをわかりやすく説明した(中央会堂幼稚園)



▲交通安全教室後、幼稚園近くの横断歩道で南谷署長と一緒に横断訓練を行った(中央会堂幼稚園)



品川

「小学生に対する交通安全対策」
品川区立御殿山小学校付近(9/1)



▲高橋署長、小野安協会長、警視庁交通課員らが下校児童に横断訓練を行った

本富士

「小学生自転車交通安全教室」
文京区立本郷小学校(9/17)
「新入学を控える児童に対する横断訓練」
私立中央会堂幼稚園(文京区)(9/24)



◀小学3年生に自転車の安全走行を指導(本富士小学校)



▶全校生徒にリモートで交通安全をアピール。「うえのまもるん」「まもるンダちゃん」の反射材を配布した



葛飾

「通学路安全運転呼びかけ隊」
葛飾区立梅田小学校付近交差点6か所(9/21)



◀通行車両の運転者に通学路安全運転呼びかけ隊(PTA、町会員など)がハンドプレートを示して注意喚起を行いながら交通整理と保護誘導活動を実施



上野

「リモート交通安全教室と上野署交通安全キャラクター命名」
台東区立忍岡小学校(9/13)



▲上野署の交通安全キャラクター「うえのまもるん」「まもるンダちゃん」の命名を忍岡小学校児童が考案。鈴木署長と小林安協会長が表彰状と記念品を贈呈